

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方（令和4年度第3回）

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
防災・防犯部会				
1	個別避難計画は、防災だけでなく、防犯の面でも生きてくる。個人情報の問題もあるが、良き相談相手と積極的に繋がるツールとしていいのではないか。	個別避難計画の対象者は、つながり名簿（要援護者のうち、関係者間で個人情報の共有について同意をしている方）に掲載されている人。港区の各地域では、つながり名簿を使って、日頃の見守りとその延長で災害時の支援にも活かすため、見守り名簿に掲載されている人を地図上にマッピングしながら情報を共有する見守りマッピングに取り組んでいる。港区内に催眠商法の店が出店した時、社会福祉協議会と連携し、日頃の見守りを担っている人のネットワークを通して、被害に会いやすい高齢者等への注意喚起に取組みました。個別避難計画の策定にあたって、日頃の見守りの強化になり、それが防災や防犯で必要になった時に生きるよう、取り組んでまいります。	同左	協働まちづくり推進課 （安全・安心）
2	障がい者自立支援協議会で、個別避難計画の説明をしていただいた。 要支援者名簿やつながり名簿について、個人情報の取り扱いの注意が必要だが、名簿に載せてもいいと思っている人もいるため、具体的策定を周知も含めて示してほしい。	現在、南市岡地域をモデル地域にして個別避難計画を作成中。モデル実施により課題等が整理できれば、詳細について広く周知し、他の地域へも広めていく予定。なお、個別避難計画の作成が「つながり名簿」の掲載（本人同意）につながるように取組を進めてまいります。	同左	
3	港区内の特殊詐欺や強盗などの事案について。	（港警察）港区内で強盗は発生していない。特殊詐欺は、令和3年12件、令和4年は対前年比増。 令和4年の街頭犯罪件数は増加、自転車盗が増加。	同左	